

しまだ こうぞう

島田 幸三 小美玉市長 2 期目就任インタビュー

芽吹いた施策「花満開」へ 新まちづくりを本格展開



1961年生まれ65歳。県議会議員などを経て、2022年に小美玉市長初当選。任期満了に伴う市長選で無投票再選を果たした。県議時代から茨城空港周辺整備や道路整備に携わる。趣味はコロナ禍で始めたサイクリング。つくば霞ヶ浦りんりんロードの活用にも期待を寄せている。

小美玉市長選挙で再選を果たした島田幸三市長が本紙インタビューに応じ、2期目の抱負を語った。茨城空港前やJ R羽鳥駅前を軸とした「新まちづくり構想」、国道6号小美玉道路(仮称)、公共施設の再編など、市の将来を見据えた大型事業を推進していく考えを示した。また、災害対応や地域インフラを支える建設業への期待にも言及し、「市民の命と暮らしを守る重要な存在」と強調した。

1 | 花が咲き果実を得られる2期目に

1期目の4年間は、教育、農業、福祉、地域防災、商工観光の5本柱を重点施策として取り組んできた。種をまいて芽が出て、花が咲き、成果が得られたものもある。一方で、まだ芽が出た段階、つぼみの段階の施策もある。2期目では、それらをさらに進め、しっかり果実を得られるよう取り組んでいきたい。

新まちづくり構想については、茨城空港前エリアや羽鳥駅前エリアがいよいよ事業化に入る段階となった。また、国道6号小美玉道路(仮称)など、市の将来につながる大型事業が本格化していく。財政とのバランスや国の支援制度を見ながら、計画的に進めていきたい。

また、こうした事業を支える地域建設業の役割は非常に大きい。災害時には真っ先に現場へ駆け付け、市民の命や暮らしを守る存在でもある。市としても県事業の導入や公共事業の発注を通じ、地域建設業者の受注機会確保や健全経営につなげていきたい。

2 | 新まちづくり構想を推進「空と陸」軸に交流拠点を

【茨城空港前エリア】

茨城空港前では、防衛省の補助事業を活用し、交流拠点施設の整備を計画している。本年度から測量に入り、来年度以降に設計へ進む予定だ。施設にはフライトシミュレーターや航空関連展示を導入し、子どもから大人まで楽しめる施設にしたい。旧百里飛行場の歴史展示や、現在空港に展示されているF4ファントム戦闘機の移設も考えている。

また、空のえき「そ・ら・ら」を拡張し、全天候型ドームやイベント広場、駐車場なども整備していく。空港、交流施設、そ・ら・らを一体的につなげ、空港利用者にも地域の魅力を感じてもらえるエリアにしたい。空港周辺では、エアロトヨタ株の進出に続き、航空関連企業の誘致も進めていく。



【羽鳥駅前エリア】

J R羽鳥駅前では、図書館機能などを備えた複合施設を構想している。民間活力を取り入れ、事業者や設計者、建設会社などが一体となった提案型の整備手法も研究している。駅東口だけでなく西側も含め、駅周辺全体を面ととらえて、進めていきたい。



3 | 国道6号小美玉道路(仮称)の実現へ

国道6号小美玉道路(仮称)は、市の将来を大きく変える重要な事業と認識している。環境アセスメントでは希少鳥類調査なども行われているが、調査完了を待たずに、都市計画決定など進められるよう継続して働きかけを国に行っていく。

完成すれば市中央部を横断する新たな都市軸となり、今後のまちづくりにも大きな影響を与える路線となる。DX化の進展により行政手続きのあり方も変化していく中、将来的な公共施設配置や行政機能のあり方についても、長期的な視点で検討したい。



4 | 文化ホールのあり方を検討

市内には3つの文化ホールがあるが、人口規模に対してこれだけの施設を維持している自治体は全国的にも少ないのではないかと。舞台設備などは経年で大規模改修が必要となり、多額の費用がかかる。そのため、文化ホールのあり方検討委員会を立ち上げ、今後の方向性を議論していく。施設の利用状況を踏まえて、機能分担、民間活用なども含め、将来的な文化ホールのあり方を考えていきたい。

また、老朽化した公民館など公共施設についても、維持すべき施設と見直す施設を整理していく必要がある。



5 | 提案型整備手法を研究

公共施設整備では、従来の価格競争型入札だけでなく、民間提案を生かした整備手法も研究している。

例えば羽鳥駅前複合施設では、事業者や設計者、建設会社などが一体となって提案するような方式も考えている。運営側の意見を反映し、より良い施設づくりにつながる方法を模索していきたい。

建設業者表彰制度については、今後の導入も含めて検討していきたい。



初登庁では多くの支援者が期待を寄せた

6 | 地域防災力強化へ減災推進

防災・減災対策では、急傾斜地対策や浸水対策を継続して進めていく。特に小河流域周辺では、崖地対策工事が事業化されている。

また、防災意識向上のため、各小学校区単位で地域防災訓練を行っている。地域ごとに事情が異なるため、それぞれの地域に合った訓練が必要だ。子どもから高齢者まで参加し、防災意識を高めてもらいたい。

7 | 地域建設業は「命と暮らしを守る重要な存在」

地域建設業者は、災害時に真っ先に現場へ駆け付け、市民の命を守る重要な存在だ。地域防災力を維持するためにも、健全経営を続けてもらうことが重要になる。

市としても、県事業や道路整備事業などを積極的に導入し、地域業者の受注機会確保につなげていきたい。大規模事業では、地元企業が下請けなどで関わることで、技術継承や育成にもつながる。

ただ、現在は資材価格高騰や人手不足の影響が大きく、特に建築関係は厳しい状況にある。世界情勢の影響も大きく、今後も状況を注視していく必要がある。

小美玉市の発展に貢献する 小美玉市建設業協会

会長 (株)クボタ総建

副会長 (株)川名工務店 (株)内藤工務店 根崎解体工事(株)

理事 (株)出沼興業 鈴木建材工業(有) (株)中村. 建工
(株)内田工業 (株)大栄 (株)本田工業
(株)エイブコーポレーション 仲田鋼建(株) (株)美野里建設
(株)小林工業 中村工業(株)

監事 (有)尾形工務店 興和工業(株) 顧問 内藤 裕二 相談役

会員 (50音順)
(株)出沼興業 (有)三暎プランニング (有)永作設備
(株)植田建設工業 山水造園建設(株) 仲田鋼建(株)
(株)内田工業 (株)勝樹設備 中村建設(株)
(株)エイブコーポレーション 鈴木建材工業(有) 中村工業(株)
(株)オカザキ (有)鈴木工務店 (株)中村. 建工
(有)尾形工務店 (有)鈴木種苗園 (株)沼田機業
(株)風間建築事務所 (株)スズヤ 根崎解体工事(株)
(株)川名工務店 (有)清司工務店 (有)幡弁商店
(有)共立建設 (株)大栄 (株)広瀬商事
(株)クボタ総建 (有)高野建設 (株)本田工業
(株)興和工業(株) (株)ツカヤ (株)美野里建設
(株)小林工業 (株)鶴亀 (株)茂木工務店
(株)小谷野建設 (株)内藤工務店 (有)山口水工